

「まどび学園にきて」

四年 春日原 美草

私は、まどび学園に来て、よかったと思います。なぜかというと、さまざまな人とふれあえたからです。けんかしたり、きょうりょうくしあつたりして、仲をふかめていきました。はじめは少しお母さんがこいしくなつたけど、「お母さんがいなくても、だいじょうぶだよ。」と言って、つよがっていたけど、もう今では本当に、お母さんがいなくても、さみしくありません。仲間がいるし、秋田の生活にもなれたからです。秋田に来て、むちゅうになつたのは本作りです。学校の理科の時間に、こん虫などのけんきゅうをして、本にまとめたのがきつかけです。『教室シリーズ』というのを作り、ハチ子のハチ教室やバツクンのバツタ教室などを作っているうちに、ミカミのミカン教室という植物の本を書き、ついには、きり子のキリン教室と、動物の本を書き上げました。自分なりにいい物が作れたと思います。

がんばった事は、スキーです。アルペンスキーはなんどもやったことがあるけれど、ノルディックスキーは、はじめてです。でも、校内スキー大会では十三人中三位になりました。そして、田沢湖スクロスカントリースキー大会でも二十六人中みごと九位になりました。おもしろかったことは、いっぱいあるけれど、中でもうかの母さんに、けいトラックのにだいにのせてもらって、のうかの畑までつれていってもらったのと、おなじくのうかでスイカわりをやって、ぐちゃぐちゃにな

つたスイカを食べ、たねをとばしてあそんだ後、何十日かして、スイカのめがでてきたことです。でも、そのあと、そのスイカのめは、ぬかれてしまいました。

私はまどび学園に来て、こんなにたのしい自然がこわれてしまったらいやだなあ。自然の生き物が死んでしまわないように、どんなことをすればいいのかなあ。私がそうりだいいんだつたら、みんなによびかけるのになあ。」と思うようになりました。私は家に帰つても、生活をみださないように、そして自然を大切に生きていたいと思います。

「一年間の思い出」

四年 仲宗根 瑠美

ぼくが、この一年間の生活で、心に残った思い出は、たくさんありました。

まず、最初は、このまどび学園に来て、毎日そつじがあつてテレビが見られない事が、あつてびっくりしたけど、日がすぎて行くごとにだんだん慣れて、あまりテレビを見なくてもがんばれるということが分かりました。だけど、それもなれてくると、家での遊びを思い出してしまうことが多かつたです。

でも、まどびは、大変なこともあれば、うまくできてうれしい事や、楽しいこともいっぱいありました。田植えは、つらかつたけどいねがだんだん育つて収穫の時は、自分達が作った米が食べられると思つてうれしかったり、マラソンの練習をして、足が早くなつてうれしかったです。好ききらいも少なくなりました。だから、ぼくは、まどび学園にきて

よかつたと思う思い出がたくさん出来ました。

一年間のふりかえり

四年 春日原 美樹

わたしは、この一年間で、東京では体験できないことをたくさんしました。ここでの一年間は、東京より、すつこく楽しかつたです。それに、がんばつたこともいっぱいあります。活動では、いやな事もいくつかありました。その一つはナタづけで、大根を冷たい水であらつたりするのがいたかつたです。他の活動では、遊んだり、学んだり、作つたりで、本当に楽しいことばかりでした。お祭りは、入園祭、あじさい祭り、しゅうかく感謝祭などで、たいこの練習をがんばりました。たいこで色々な曲を覚えました。それと、みんぶも、ソーランぶしや、春こまも覚えました。それから、スキーや、マラソンも、いっしょうけんめいがんばりました。

夏は、宿題が終わつたら、マラソンの練習もして、郡市の大会で、六位になりました。スキーでも、同じように、がんばり、田沢湖の退会では、七位になれて、ほんとうに良かつたです。もう一つがんばつたことは、食べる事です。学校で、二学期にまでは、ぜんぜん早くたべられませんでした。今では、きらいな魚が出て、歯みがきの音楽がなる前には、食べ終わるようになります。ここに来て、来る前と、すつこく変わりました。そして、あいさつもきちんと言えるようになりました。

農家では、学園とちがい、料理がいつでもできるし、冬には、屋根から落ちてきた雪にのぼったりして遊びました。農家は、本家のように、わたし達を、あずかってくれました。農家のお兄さん、お姉さんと遊んだりして、すごく楽しかったです。ありがとうございました。

「僕の一年間の思い出」

五年 松尾 洋希

僕が一番「楽しかったなあ」と思ったことは、釣りと川遊びです。つりは、キャンプの時に川でイワナ釣りをしたのと海で船に乗って釣ったこと思い出です。海では、淳仁君と真澄さんは、なんとすごい魚を釣りました。それは、アイナメ、カワハギ、小さいタイとイワシが一匹ずつ釣れました。いっぱい釣れたのは、主にアジ、サバがいっぱい釣れました。

川遊びは、みんなでびしょぬれになってすごい寒かったけどとても楽しかったです。春、僕は、初めてまとびの仲間になりました。入園祭のときは、いろいろの人が自己紹介をしたりしました。夜は、お客さんといっしょに食べたり飲んだりしました。一週間ぐらいたったら入園祭の新聞がのっていました。僕は「有名人だなあ」と思いました。

運動会では、走ったりしました。僕は黄組でした。親子の競技では、お母さんといっしょにパンくい競争をしました。運動会が終わった後、農家の人やお母さん、お父さんとい

っしょにお昼ご飯を食べました。みんなといっしょにお花見に行きました。ひらひらと桜の花が散ったりしていました。まとびに帰るとちゅうカツプアイスを食べました。その後遊具で遊びました。

夏、センターの近くの山にクワガタをとりに行きました。主にノコギリクワガタやクワクワガタがとれました。いっぱいとれました。

また阿仁のからみないキャンプ場に行きました。そこには、天狗がいるという伝えがありました。夜、料理はんとご飯をたくはんと分担して決めました。夜のご飯は、ハンバーグカレーでした。とてもおいしかったです。8時ぐらいに美樹さんと瑠美さんと、ぼくと淳仁さんと真澄さんの5人できもだめしをしました。とても怖かったです。ねていたらフクロウの声が「ホーホー」と聞こえました。朝になったころみんなでカジカつきをしました。ただどカジカは、一匹もとれませんでした。

秋、楽しみに待っていた収穫祭でやる自由研究をなににしようかなと思って悩んでいました。そしてかばざいくをやることになりました。いよいよ収穫祭が始まりましたが、小学校のお友達や学校の先生などが収穫祭に来てくれました。夜のご飯は、まとびで飼っていたニワトリをおいしくいただきました。

冬、校内スキー大会がありました。ぼくは、8位でした。ピリにはなりませんでしたが、また田沢湖のスキー大会ではピリになったけど全力でがんばったので良かったです。

ぼくは、この一年間の中でがんばったこと

はスキーです。理由は、走るよりもスキーでやったほうが自分で疲れないからです。千葉に行っても注意されたことをがんばりたいです。

「まとびに来て…」

六年 四家 怜菜

私は、まとびに来て成長したなと思うことはたくさんあります。

一つ目は、以前より集中力がついた事です。二つ目は、体力がついた事です。まとびに来てから走るようになってからは、体力がついてきました。

三つ目は、ローマ字を覚えるようになったことです。ローマ字ができるようになってからは楽しいと思えるようになりました。

四つ目は、食事のしかたがよくなったことです。あまり、クチャクチャしなくなったのと、はしを右で使えるようにしたことです。

次にまとびに来て楽しいと思ったことです。一つ目は、動物がいたことです。やぎ、うさぎ、にわとり、チャボがいました。とてもにぎやかでした。

二つ目は、本がたくさんあったことです。まとび学園でテレビとかはないので、時間がある時はたくさん本を読むことができました。私は、まとびに来て良かったと思うことがたくさんあります。なので、ほかの人にも来てほしいと思いました。

「一年間を振り返って」

六年 清水 真澄

私は、この一年間を振り返ってみて、一年間がとても短いように感じました。初めは、家に帰りたくて、ホームシックになったことが何度かありました。でも、学校の友達は、とつてもやさしく接してくれて、気がついた時は、家に帰りたいと思わなくなっていました。そして、まとびに来て郷土料理をいろいろ知りました。私は、入園祭の時に、キリタンボを使った料理を覚えたいと言ったので、それが守れて良かったです。家でも家族にそれを作ってあげたいです。

私は、この一年間でいろいろ学びました。まとび学園に来て一番感じたことは、親の大切さです。いっしょにいるのが普通だと思っていたけど、まとびに来て親がいけない生活をして、どれだけ親が大切かということが分かりました。これからは、きちんと親の言うことを守りたいです。

「今年を振り返って」

六年 山野井 淳仁

ばくは、今年を振り返ってみて一年目より二年目、二年目より三年目とまとびでくらししている時間がすごく短く感じます。

今年楽しかった事や頑張ったことは、三回あります。一つ目は、太鼓です。春から練習してきて、アジサイ祭や収穫祭などで発表しました。できなくても頑張って練習し、でき

るようになりました。

二つ目は、ヨット・カヌー活動です。カヌーで日本海の近くまでいったり、ボートやヨットなどいろいろな物にのり遊びました。カヌーで力の加え方が難しく、クルクル回転してしまつて苦労しました。

三つ目は、スキーです。今年は雪不足で二つの大会が中止になり、北空港と田沢湖しか出られませんでした。でも、頑張つて練習し北空港で十九位で、田沢湖では十五位でした。練習を頑張つてやったし、思いつきやれたので良かったです。

農家では、去年と同じ三浦さんの農家に洋希君と瑠美君とぼくで泊まりました。農家では、ケンカがおおくて農家のお父さんやお母さんにめいわくをかけていました。スイマセンでした。

なんとと言っても一番心に残るのは、陸上で。全県大会や山形で行われた全国ジュニア駅伝大会にも出場することができ、北秋田市スポーツ賞で奨励賞を頂くことができました。このような賞を頂いたり、色々な活動ができたのも、多くの方々の応援のおかげだと思います。まとびにこさせてくれた家族のおかげです。兄弟の中でぼくだけが三年間もまとびにこさせてくれてありがとうございます。